

はままつ みっかび とよはし  
**浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）**  
**第2回アンケート（案）**

**国土交通省 中部地方整備局**

**令和2年6月24日**

道路計画に関するご意見をお聞かせください

はままつ みっかび とよはし

浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の計画に関する  
第2回アンケート

【概ねの起終点】  
三河港

【概ねの起終点】  
三ヶ日ジャンクション

本アンケート調査は、浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の計画にあたり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、周辺地域の皆様のご意見をお聴かせ頂くために実施するものです。

本アンケート調査は全2回を予定しており、1回目のアンケートでは、浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺地域の課題や道路に求められる機能・役割についての地域の皆様のご意見を頂き、政策目標を決定いたしました。

2回目となる本調査では、政策目標をもとにルート帯案を比較・検討する際に重要だと思ふポイントについてご意見を伺うものです。

なお、本アンケートは、環境影響評価法第三条の七に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。ご協力のほどお願い申し上げます。

本調査は、豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市（北区・西区）、湖西市の方を対象にアンケート調査実施のご案内を送付し、ご回答をお願いしております。

ご回答いただいたアンケートは、国土交通省名四国道事務所及び浜松河川国道事務所で集計を行います。



アンケートの答え方は右側及び裏面をご覧ください。

郵便はがきによる回答は、20●●年●月●日(●)までにお願致します。  
※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局  
名四国道事務所 計画課

〒467-0847 名古屋瑞穂区神穂町5番3号  
TEL (052) 823-7917 (直通：平日9:30~17:00)  
ホームページ: <http://www.cbr.mlit.go.jp/meishi/>

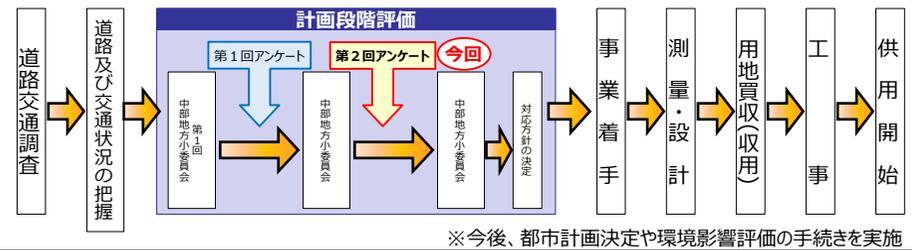
国土交通省 中部地方整備局  
浜松河川国道事務所 計画課

〒430-0811 静岡県浜松市中区名塚町266  
TEL (053) 466-0117 (直通：平日9:30~17:00)  
ホームページ: <http://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/>



道路事業の流れ（計画段階評価の流れ）

- 計画段階評価では、地域の皆様のご意見をお伺いしながら、地域の状況と課題、道路に求められる機能等を整理し、今後整備を進める道路について、概ねのルートや構造を評価していきます。
- 第1回のアンケートでは地域の課題や地域に求められる道路の機能・役割についてのご意見を頂き、政策目標を決定いたしました。第2回アンケートでは、政策目標をもとに、ルート帯案を比較・検討する際に重要だと思ふポイントについてご意見を伺うものです。なお、本アンケートは、環境影響評価法第三条の七に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。
- 本アンケート結果を基に、今後は道路整備の方針（対応方針の検討）を検討して参ります。



回答用の郵便はがきの記入例

- 選択回答の設問は、あてはまる番号に1つだけ○（マル）をしてください。
- 問2、問3は4段階評価の質問です。それぞれの項目について1つずつ○（マル）をつけてください。その他の選択肢をチエックした場合は、具体的な内容を回答してください。
- 問4の設問は自由回答です。具体的なご意見をお書き下さい。

※地域の現状について、地域にお住まいの皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的としています。そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

「オモて面」

郵便はがき

4 6 7 8 7 9 0

名古屋瑞穂区神穂町5番3号  
国土交通省名四国道事務所  
計画課 行

1. 性別	1. 男性	2. 女性		
2. 年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
3. 通勤・通学手段	1. 徒歩	2. 自転車	3. 自動車	4. タクシー
4. 利用する道路	1. 利用する	2. 利用しない		
5. 利用する理由	1. 仕事	2. 通学	3. 買い物	4. 観光
6. その他	1. 仕事			2. 通学
7. その他	3. 買い物			4. 観光
8. その他	5. その他			

「ウラ面」

問2. この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）において、望ましいルート帯案を考へる際に重要だとお思ふ項目は、以下の1～8の項目について、4段階評価してください。

4. 景観	3. どちらかというところ	2. どちらかというところ	1. 全く思わない	
① 高速道路ICに早く開通時に到達できること	4	3	2	1
② 災害時にも道路通行できること	4	3	2	1
③ 災害時に支障物等の輸送に役立つこと	4	3	2	1
④ 観光地への移動がしやすいこと	4	3	2	1
⑤ 市街地を走る大型車を減らせること	4	3	2	1
⑥ 生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと	4	3	2	1
⑦ 自然環境（動植物等）に配慮し、影響が少ないこと	4	3	2	1
⑧ 地域の景観（景観資源）に配慮し、影響が少ないこと	4	3	2	1
⑨ 道路をつくる費用が安いこと	4	3	2	1

問3. インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきかと思ひますか。

4. 全く思わない	3. どちらかというところ	2. どちらかというところ	1. 全く思わない	
① 産業拠点となる三河港や産業集積地等からアクセスしやすいこと	4	3	2	1
② 防災拠点からアクセスしやすいこと	4	3	2	1
③ 沿線地域の観光地へアクセスしやすいこと	4	3	2	1
④ 市街地からアクセスしやすいこと	4	3	2	1

問4. その他配慮すべき事項について、ついでにご意見がありましたら、ご自由にお書きください。  
【自由回答】

問5. この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）の現在の道路の状況や、今後の道路整備等についてご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。  
【自由回答】

ご協力ありがとうございました。

該当する数字を○で囲んで下さい。  
その他を選択した場合は( )に詳細をご記入ください。

アンケートの答え方

手順①：アンケートの対象範囲を確認して下さい。



P.1にアンケートの対象範囲を示しています。アンケートの対象となる地域を確認して下さい。

手順②：P. 3～4を見ながら、回答してください。



回答方法①  
：下記のQRコードより、WEBページ内の手順に沿って回答してください。



回答方法②  
：回答用紙（返信ハガキ）に記入の上ポストへ投函してください。



ご家族の複数の方でご回答いただいても構いません  
※ 回答用紙（返信ハガキ）は2通同封しています

～ 地域の意見聴取の回答方法、実施期間 ～

- 郵便はがきによる回答は、**20●●年●月●日（●）**までをお願い致します。
- ※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

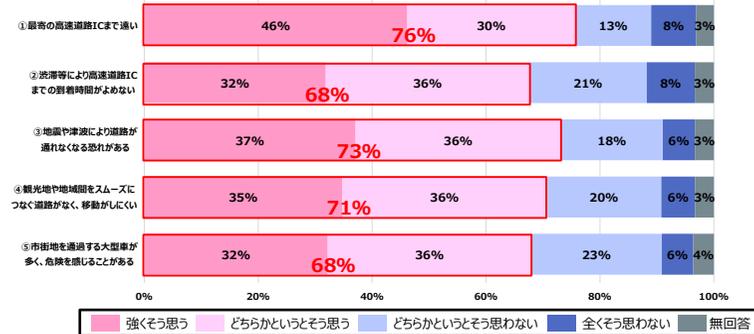
第1回意見聴取の結果

第1回意見聴取の結果では、地域の皆さまや道路利用者の方にアンケートを行い、32,700通余りものご意見が集まりました。  
頂いたご意見を以下にお知らせいたします。

1) アンケート結果

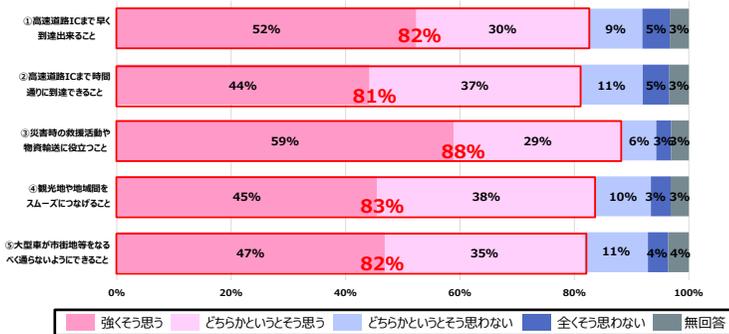
■ 新たな道路を計画している地域の課題

新たな道路を計画している周辺地域の道路の課題について、全ての項目において7割～8割の人が課題だと認識しています。



■ 浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）に求められる機能・役割

浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）に求められる機能・役割について、全ての項目において必要だと認識している人が多く、特に防災の関心が高い傾向です。



2) ヒアリング結果

- 時間信頼性の高い道路の整備が必要。高速アクセスが良くなり、豊洲方面への出荷が良くなれば鮮度が上がり、魚の付加価値も上がる。（商工会）
- この地域8市町村が連携して観光振興に取り組んでいるが、観光面は点になりがち。観光資源を繋ぎきっかけになる道路整備が必要。（観光協会）
- 災害時における被災地や避難所、医療拠点等へのアクセスルートとなる道路整備が必要。（病院）
- 湖西市では、現在、救急車の主たる利用道路として、国道301号を利用しているが、線形が悪く、片側1車線のため、渋滞や事故の影響を受ける。（消防）
- 幅員が狭い道が多く、自転車の走行の安全性に影響。10tトラックドライバーのストレスになっている。（JA）
- 自転車（サイクリスト）と物流車両等との衝突の危険性等、安全性の課題が大きい。（観光協会）

# 地域の課題と課題を解決するための目標について

## 浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）における課題解決のための目標を定めました

■ 第1回委員会にて整理した地域の課題と地域の皆様から頂いたご意見をもとに課題解決に向けた目標を以下の通り定めました。

**課題1** ① 最寄の高速ICまで遠い  
② 渋滞等により高速道路ICまでの到着時間が読めない  
《国道151号の渋滞》



至 豊川IC  
至 三河港方面

**意見聴取で頂いたご意見**

- ・高速のICが、東西どちらも遠い。
- ・朝夕の渋滞で、身動きできない。

**政策目標**

速達性、定時性の向上による物流支援

**課題2** ③ 地震や津波により道路が通れなくなる恐れがある  
《防災拠点における災害支援》



※出典：国土交通省（南海トラフ地震巨大地震対策計画）

**意見聴取で頂いたご意見**

- ・災害が起きた時、救援に不安を感じる。
- ・今後予想される自然災害に対するの早急な対応を望んでいる。

**政策目標**

災害時の信頼性向上による円滑な救援等活動及び支援助物資輸送

**課題3** ④ 観光地や地域間をスムーズに繋ぐ道路がなく、移動がしにくい  
《観光地間の連絡》



**意見聴取で頂いたご意見**

- ・遠州地域から三河地域を結ぶ幹線道路が少ない。

**政策目標**

広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進

**課題4** ⑤ 市街地を通過する大型車が多く、危険を感じることもある  
《事故危険箇所》

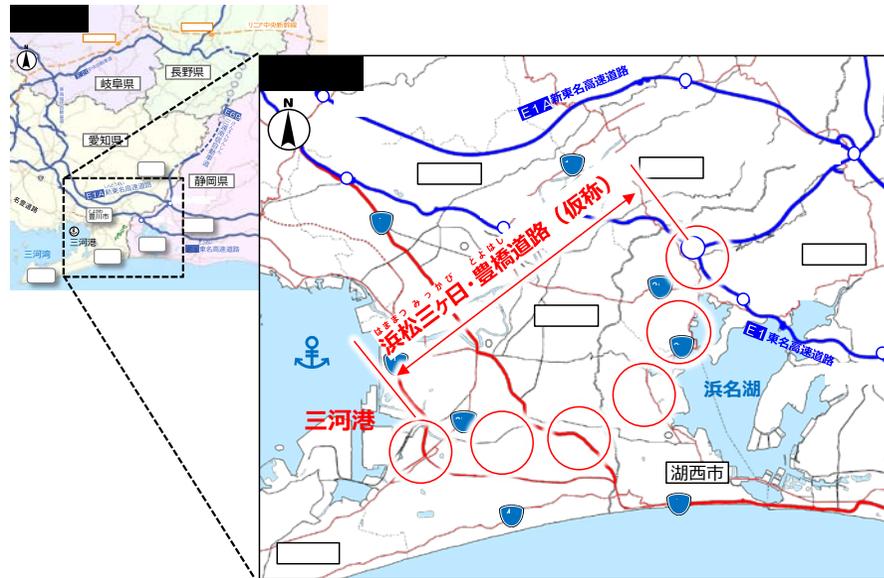


**意見聴取で頂いたご意見**

- ・道が狭く、歩行者も入り乱れる地域なので危ない。
- ・危険防止のため、産業道路と、生活道路の分離が必要。

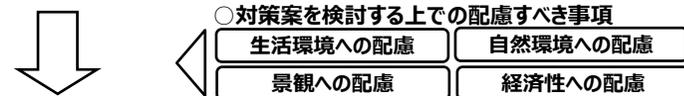
**政策目標**

生活交通の安全な走行環境



定めた目標と以下配慮事項を踏まえ、対策案を検討します。

基本コンセプト：物流支援、円滑な救援活動及び支援助物資輸送、地域間交流の促進、生活交通の安全な走行環境を図る、当該地域の新たな主要幹線道路としての機能を目指す



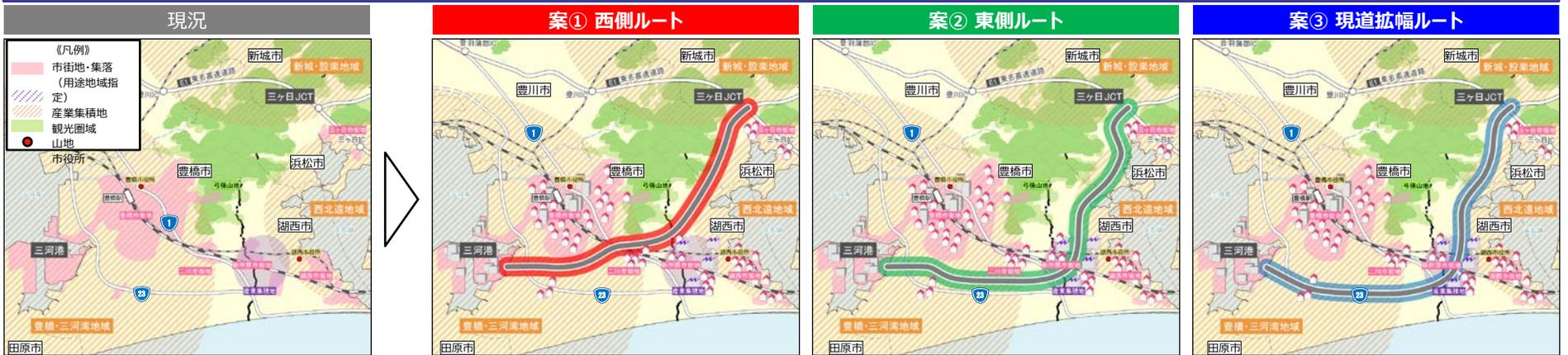
対策案の方針：通過ルート異なる複数の対策案を検討

- 対策案を検討する上での重視すべき事項
  - 高速道路までより早く確実に到達し、安全で快適な走行ができること
  - 災害時において、救援活動や支援助物資輸送に役立つこと
  - 豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の主要な観光地間について、広い範囲で行き来がしやすくなること
  - 大型車の市街地への流入を減らすこと
- インターチェンジの設置を検討する上での配慮すべき事項
  - 産業の拠点となる三河港や静岡・愛知県境付近の工場などからアクセスしやすいこと
  - 災害時の救援活動や支援助物資輸送のために、豊橋・湖西市からアクセスしやすいこと
  - 主要な国道等とアクセスしやすいこと

# 質問内容

■ 地域の課題を解決するために、以下のような対策案（3つの比較案）を検討しています。対策案について、次ページの質問事項をお答えください。

## 各ルートの整備イメージ



## 各ルートの比較表

評価軸		案① 西側ルート	案② 東側ルート	案③ 国道23号拡幅ルート
ルート概要	概要	豊橋市街地と二川市街地の中間を通過するルート	新所原市街地の東側を通過するルート	新所原市街地の東側を通過し、一部、国道23号を拡幅するルート
	延長	約26km	約29km	約31km (うち国道23号拡幅区間 約14km)
政策目標	速達性、定時性の向上による物流支援	高速道路へのアクセスが向上する	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間：14分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：5分短縮) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間：6分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：短縮なし) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)
	災害時における円滑な救援等活動及び支援物資輸送	災害時にも通れる信頼性が高い道路である 災害時に支援物資等の輸送に役立つ	津波浸水域や液状化が想定される地域を回避または橋梁構造により通過することで、大規模災害の影響を受けにくい 防災拠点へのアクセス性向上が見込まれる (現況よりアクセス性よくなる防災拠点：7箇所)	津波浸水域や液状化が想定される地域を回避または橋梁構造により通過することで、大規模災害の影響を受けにくい 防災拠点へのアクセス性向上が見込まれる (現況よりアクセス性よくなる防災拠点：6箇所)
	広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進	観光地間の移動がしやすくなる	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性の向上が見込まれる(豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：17分短縮)	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性向上が見込まれる(豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：14分短縮)
	市街地における安全な走行環境の確保	市街地を走る大型車両を減らせる	現道の幹線道路や市街地からの大型車交通の削減が期待できる(ルート帯周辺に立地する製造業の事業所数：約700箇所)	現道の幹線道路や市街地からの大型車交通の削減が期待できる(ルート帯周辺に立地する製造業の事業所数：約600箇所)
配慮すべき事項	環境への影響	生活環境への影響(集落・市街地の大気質・騒音)	市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい
		自然環境への影響(動物、植物、生態系等)	植物の重要な種の生息地等を概ね回避するため、影響を与える可能性は比較的小さい	植物の重要な種の生息地等を最も回避するため、影響を与える可能性は小さい
		景観等への影響(景観等)	景観の保全上重要な箇所を回避するため影響を与える可能性は小さい	景観の保全上重要な箇所を回避するため影響を与える可能性は小さい
経済性への配慮		約3,000億円～3,600億円	約3,100億円～3,700億円	約2,700億円～3,200億円

※ 東名高速へのアクセスと新設する自動車専用道路へのアクセスの比較

## ■ 質問事項

**質問 1 :** この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思ふことは何ですか。  
以下の①～⑨の項目について、4段階評価してください。  
その他、ご意見があれば、⑩にご記入ください。

< 4段階評価 >

4. 強く思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全く思わない

- ① 高速道路ICに早く時間通りに到達できること
- ② 災害時にも道路を通行できること
- ③ 災害時に支援物資等の輸送に役立つこと
- ④ 観光地間の移動がしやすくなること
- ⑤ 市街地を走る大型車両を減らせること
- ⑥ 生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑦ 自然環境（地形・地質・動植物・自然公園等）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑧ 地域の景観（景観資源）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑨ 道路をつくる費用が安いこと
- ⑩ その他（自由回答）

**質問 2 :** インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか。  
以下の①～④の項目について、4段階で評価してください。  
その他、ご意見があれば、⑩にご記入ください。

< 4段階評価 >

4. 強く思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全く思わない

- ① 産業の拠点となる三河港や産業集積地などからアクセスしやすいこと
- ② 防災拠点からアクセスしやすいこと
- ③ 沿線地域の観光地へアクセスしやすいこと
- ④ 市街地からアクセスしやすいこと
- ⑤ その他（自由回答）

**質問 3 :** その他配慮すべき事項について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

**質問 4 :** この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

郵便はがき

4 6 7 8 7 9 0



差出有効期間  
令和〇年〇月  
〇〇日まで  
(切手不要)

名古屋市瑞穂区神穂町5番3号  
国土交通省 名四国道事務所  
計画課 行



2322EQR \*

1. された方について ください	お住まいの市を 選択してください	1. 浜松市 2. 湖西市 3. 豊橋市 4. 田原市 5. 豊川市 6. 新城市
	それ以降の住所を 記載してください	( ) ※〇丁目以下は記載無しで構いません
2. 動車を利用されます 1つ選択]	1. 男性 2. 女性	
	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70歳以上	
3. 2]で1～4と回答された方にお聞きます。 大図の地図に示す『浜松三ヶ日・豊橋道 称) ※地図中〇〇〇で示す路線』の周辺 市・湖西市・浜松市北区)の道路を利用 「か。	1. ほぼ毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度 4. ほぼ利用しない 5. 利用したことがない	1. 利用する 2. 利用しない
	1. 仕事 2. 通勤・通学 3. 日常的な買い物・通院等 4. 観光・レジャー 5. その他 :る目的を1つ選択]	( )
5. 4]の目的で向かう 的はどこですか?	( ) 都・道・府・県 ( ) 市・町・村 ( )	※〇丁目以下は記載無しで構いません